



期末テスト、県総体を前に読んでみてください 保護者のみなさんもぜひ読んでください。

来週の火曜日、水曜日はいよいよ期末テストです。期末テストへ向けての準備は整っていますか？ テスト勉強に「何時間勉強をすればいい」という上限はありませんので、今の時点で「準備が整っています」と自信を持って言える人はほとんどいないと思います。また、県総体までの日数もちょうど1ヶ月くらいとなってきました。この県総体についても「今後どれだけ頑張れば勝てるのか」という問いに答えることができる人はいないと思います。そんなみなさんに、ぜひ読んでもらいたい話があります。**「努力の壺（つぼ）」**というたとえ話です。



みなさんが、「大会で勝ちたい」とか「テストで80点とりたい」という目標を立てたとき、神様から見えない「努力の壺」を渡されます。そして、その目標を達成するためには、この壺に努力をためていく必要があります。大会で勝ちたいなら「全力で練習に励む」、80点をとりたいなら「毎日3時間勉強をする」などといった努力を重ねると、壺に努力がたまっていけます。努力を繰り返すと壺が努力で満たされ、いつかあふれ出すときがきます。すると目標が達成されるのです。目標を達成するためには努力を続ける必要があります。しかし、それを難しくさせる原因がこの壺にはあります。

1つ目は、「中を見ることができない」という点です。この壺は中が見えないので、今どれくらい努力がたまっているのかわかりません。9割くらいたまっているかもしれないし、10分の1もたまっていないかもしれません。人間は、ゴールが見えないことが苦手です。いくら頑張っても成果の途中経過がわからないから、「どんなに頑張っても無理かもしれない」とあきらめてしまう人が多いのです。



2つ目は、「壺の大きさが人によって違う」という点です。壺の大きさが人によって違うとはどういうことか？ 例えば、「英単語を10個覚える」という目標を立てたとします。A君は20回書かないと覚えられません。B君は10回書いただけで覚えることができます。この時A君の壺はB君の壺の2倍の大きさということになります。当たり前の話ですが、「他人と同じだけ努力したから同じ成果がでる」ということは絶対にありえません。でも、そのことが理解できず「人と同じくらい頑張ったのに達成できなかった。もういいや」とあきらめてしまう人が多いのです。

でも、考えてみてください。もしかしたら、あと何回かの努力を注ぐだけで壺があふれる（テストで目標の得点がとれる、県総体で勝つことができる）かもしれないのです。だから私たちは、壺があふれて目標が達成された時の喜びをイメージしながら、ただただ努力を壺に注いでいくしかないのです。そして、何度か壺を一杯にする経験をすれば、自分の壺の大きさも想像できるようになってきます。すると少しは、努力することが苦にならなくなるのではないかと思います。**期末テストまであと5日、県総体まであと1ヶ月です。最後まで努力を続け、ぜひ頑張った人にしか味わうことができない喜びを味わってください。**

ホームページで日々の学校生活の様子を紹介しています。

<https://www.torikyo.ed.jp/yurihama-j/>

